

古見えアイテムの見極め法

トレンドが出やすいボトムスを中心に見直して「クローゼットのワードローブが、昔のままになっていない人は、アップデートが必要ですよ」と、パーソナルスタイリストの橋本ワコさん。「ベーシックな形だからOK」と思っている数年前のアイテムを着回している、あか抜けない印象に見える

ことも「特に、ボトムスは丈や形が1〜2年で変わるので、トレンドが出やすい。ベーシックなアイテムでも、2〜3年を目安に買い替えるのがおすすめ。」「いったい、どんなアイテムが流行遅れなの？ これまで多くの働き女子のクローゼットを手エックしてきた橋本さんが、古見えアイテムを指南。見つけたら潔く買い替えて。」

形が古くなりがちなアイテム

- ① ボトムス**
「丈の長さや形など、ボトムスは全アイテムのなかで一番トレンドが出る。何年もはいているパンツやスカートは見直し時！」
- ② シャツ**
「シンプルなデザインでも、襟の形やシルエットは2〜3年スパンで変わるもの。襟を後ろに抜くなど、着方にもトレンドが！」
- ③ カットソー**
「今はゆったりシルエットが旬なので、体にピッタリ沿うシルエットは古見えがち。袖の形や柄も、1〜2年で流行が変わります！」
- ④ ジャケット**
「アームホールが大きいもの、袖や丈が短いものは、ひと昔前のデザイン。今の体形に合っているかも大事なチェックポイントです！」
- ⑤ ストッキング&タイツ**
「ストッキングは素足っぽくナチュラルに見えるものが主流。光沢感が強いものは避けて。タイツは黒よりグレーが今っぽい！」

この人に聞きました

パーソナル
スタイリスト
橋本ワコさん



2007年にパーソナルスタイリストとして独立後、waco stylingを設立。一般社団法人日本スポーツビューティ協会代表理事も務める。個人向けのスタイリングのほか、テレビや雑誌などのメディア出演、セミナー講師としても活躍。

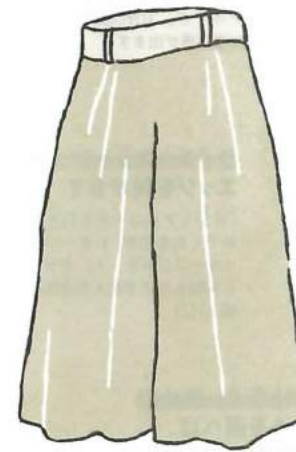
ベーシックな服を着ているつもりでも、コーデがあか抜けないのは、服の形が古くなっているせい。かも。旬なアイテムに更新すべき古い服の見極め方を紹介！
取材文／西尾英子 イラスト／徳丸ゆう

そろそろお別れしてもいい？ “古いアイテム”7タイプ

1 丈の短い ガウチョ パンツ

大ヒットした膝下やふくらはぎ丈でウエストがゴムのガウチョパンツも、昨年で流行は終了。「脚を太く見せる上、おぼさんっぽい印象に。今選ぶなら、丈が長く、適度なワイド感のあるパンツです。」

今の旬はコレ
丈が長めのワイド感のあるパンツ



2 6年以上前の 黒い パンツ

定番の黒のきれいめパンツ。「太ももが細身で裾が広がるブーツカットや、脚の形がくっきり出る細身のシルエットは古い印象に。細身でもタック入りなど、ややゆったりめのパンツが主流です。」

今の旬はコレ
ゆったりシルエットの黒パンツ



3 膝上丈の タイト スカート

タイトスカートは、丈の長さがポイント。「今はミモレやロングなど、丈が長いのが旬。膝が見える丈は手放して。特にアラフォーは、膝の上に贅肉が乗ってくる年頃。流行にかかわらず隠すのが無難。」

今の旬はコレ
ミモレ丈のタイトスカート



4 胸元が ゴージャスな シャツ

「胸元に大きめのフリルが付いているなど、ゴージャスな雰囲気のパリッとしたシャツは、バブル期に流行ったひと昔前のアイテム。40代以降の人のクローゼットにありがちで、旬なコーデには不向き」

今の旬はコレ
ボウタイのとりみブラウス



5 就活時代の カッチリ シャツ

ベーシックなアイテムだけに、なかなか捨てられない人も。「ウエストがシェイプされた丈の短いシャツや、襟が大きい開襟シャツは古い印象に。シャツは今年も抜け感のあるビッグシルエットが◎。」

今の旬はコレ
ビッグシルエットのシャツ



6 体のラインに ピッタリ すぎる ニット

「細身のニットでも、腕周りや身幅がややゆったりしているのが今っぽい。体のラインを拾うピッタリニットは、二の腕や背中や脇の贅肉を強調する危険アイテム。やせている人は貧相な印象に」

今の旬はコレ
二の腕周りがゆったりとしたニット



7 丈が短め、腕周り太めの テーラード ジャケット

「襟が大きく腕周りが太め、かつ袖と丈が短いテーラードジャケットは、数年前の流行り。最近のトレンドは、丈がやや長めで、すっきりしたシルエットのもの。4〜5年に1度は見直したい」

今の旬はコレ
丈が長めのテーラードジャケット



迷わず捨てたい！ 服の診断リスト

- ☑ **汚れ、シミがある**
汚れやシミがついた服は、チーピングでだらしのない印象に。クリーニングに出してもダメなら、即捨てて。
- ☑ **生地がクタクタ、糸がほつれている**
「袖口が伸びてきた、糸がほつれてきたら“お役目終了”のサイン。部屋着や掃除用に回しましょう！」
- ☑ **今の自分のサイズに合わない**
「やせたらまた着よう」と思っている服は、たとえやせたとしてももう着ません！」
- ☑ **2年以上、着ていない**
「高かった服も、2年以上着ていないければ、今後も出番なし。ただし、冠婚葬祭用の服は別です」



“おしゃれ迷子”でも失敗

この人に聞きました
パーソナル
スタイリスト
橋本ワコさん
→ p.88

事前準備と入念な試着でベストな服をゲット!
これまで数々の買い物同行で、おしゃれ迷子たちを救ってきたパーソナルスタイリストの橋本ワコさん。買い物で失敗しないコツは、「事前準備と、入念な試着」とアドバイスする。「まずは雑誌などをチェックして、やりたい自分をイメージし、手持ちの服でコーディネート。買いたいアイテムを具体的に決めてから買い物に出かけて。ショップではTシャツ1枚でも、試着が欠かせないと橋本さん。下記の「試着で見るべきポイント」を参考に、自分にピッタリの1着を見つけよう!

買い物に失敗してしまう3大原因はこれ!

原因1

無計画に買い物に行く

「なんとなく」で買い物に行くのは、衝動買いや、何も買わずに帰ってくる原因に。買いたいアイテムと、だいたいの予算を決めて出かけよう。

原因2

きちんと試着をしない

「面倒くさい」「恥ずかしい」などと試着をせずに服を買うと、「思ったのと違う…」となりがち。着てみると印象が違う服も多い。必ず試着を。

原因3

店側のおすすめを断れず購入

“店側の売りたい服”と“自分が似合う服”とは違う。「試着したら買わなきゃいけない」と思わなくてOK。“違う”と思ったら断る勇気も必要!

GOAL!

即決せず、カフェで30分間考える

試着後、その場の勢いで買うのは禁物。カフェで落ち着き、「いいな」と思ったアイテムと手持ち服との相性をシミュレート。「予算オーバーなら、セールになるまで待つ手も」。

着こなし方を店員に教えてもらう

シンプルな服ほど、着こなし次第でおしゃれに見えるかどうかが決まる。試着時は、店員にアドバイスをもらいながら、腕をまくる、ボトムスにインする、アクセサリーを借りるなど、着方も学んで。

CHECK!

試着で見る

ボトムス

- 下腹部辺りにシワがよっていないか
- 腰のポケットが引っ張られていないか*1
- お腹のファスナーが見えていないか*2
- お尻の形がきれいに見えるか
- しゃがんだとき、締めつけがきつくないか
- スカートは丈が短くないか



膝を出さないのがマスト

[ボトムスはサイズ感が鍵。ポケットやファスナー部分が引っ張られて開く、股上部分に横シワが入る、尻下にたるみが出るなどしたら、体形に合っていない証拠。かがんだり、歩いてみたりするなど、動いたときのシルエットも忘れずに確認しましょう。下半身が太めの方は、タック入りのボトムスがおすすめ!]

しない服の買い方

今の自分に似合う服を買いに行きたいけれど、何をどう選べばいい? パーソナルスタイリストの橋本ワコさんがコツを伝授!

START!

ファッション誌でトレンドや着こなしをチェック

ファッション誌やインスタで、今のトレンドやコーディネートの確認を。「自分と体形が似た人を参考にすると◎。素敵だと思うスタイリングを撮影してためていくと、自分の好みも明確に」(橋本さん)。

クローゼットのアイテムを整理しコーデを作成

手持ちアイテムをすべて出し、ボトムス、トップスなどジャンルごとに分け、流行遅れや着ていないアイテムは手放す。残ったアイテムでコーディネートをつくり、足りないモノをメモし買い物の参考に。

買い足すアイテムを絞り込む

手持ちのアイテムに合わせたとき、3パターン以上着回せるか、似たような服がないかなどを考えながら、買い足すアイテムを絞り込む。前もって予算を決めておくと、衝動買い防止につながる。

ATTENTION

“おしゃれ迷子”はネット通販よりリアル店舗へ!

[ネット通販は試着ができないので、買い物に失敗がち。“おしゃれ迷子”は、リアル店舗での買い物がベスト]

橋本さんのチョイス! 体形お悩み別おすすめショップ

上半身が太い	アースミュージック&エコロジー、バンヤードストーム
下半身が太い	PLST、GAP、バナナ・リパブリック
身長が低い&細い	ストロベリーショップ(伊勢丹)、IENA

[PLSTやGAPはパンツのサイズ展開が豊富。自分の体形に合ったブランドやショップを活用することで、コンプレックスを上手に解消できます]

欲しい服が買えそうな店を4つまでに厳選

あてもなくファッションビルをうろちよるしても疲れるだけ。「好みの服が買えそうな店を3~4つくらいに絞っておくといいでしょう」。体形に悩みがある人は、左記も参考に。

STOP!

試着はマスト! 店内の大きな鏡でスタイルをチェック

試着後は試着室から出て、フロアの大きな鏡で全身をくまなくチェック。「正面だけでなく、斜めや後ろ、動いたときのシルエットも確認。本音を言ってくれるおしゃれな友達に同行してもらおうと安心」。

買い物は店が空いている平日夜か土曜朝イチを狙う!

店が混んでいる時間に行くと、店員がつかまりにくく、試着するにも時間がかかりストレスに。「穴場は平日夜と土曜の朝イチ。2~3着と点数が多くても試着しやすく、落ち着いて洋服を選べます」。

べきポイント

トップス

- 首回りが寂しくないか
- かがんだとき胸元が見えないか
- 背中の贅肉が目立たないか
- 腕が動かしやすいか
- 丈が短すぎor長すぎないか

スカーフやアクセサリーを借りても◎

骨盤に届くくらいの丈がベスト

[トップスは首回りや胸元の開き具合をチェック。後ろ姿を鏡で確認し、背中の贅肉を拾っていないかもおきたい。また、下っ腹が気になる人は、横からお腹の見え方も確認を。骨盤に届くくらいの丈なら、インしてもなくても使えて便利。買い足すアイテムに合わせたボトムスを履いていくと、イメージしやすいです]